

「CO2 吸収源の森づくり植樹祭」報告書

「CO2 吸収源の森づくり植樹祭」について以下の通り報告致します。（文責：春木）

日時：2011年3月6日（日）13時30分～16時（天候：雨）

場所：亀浦埋立処分場跡地

主催：宇部市地球温暖化対策ネットワーク

共催：宇部市、里山ビオトープ二俣瀬をつくる会

後援：宇部日報社、エフエムきらら

○概要

低炭素社会の構築に向けて、増加傾向が著しい民生業務部門のCO2削減対策として、イベント開催時に来場者がマイカー等で排出したCO2を植樹で相殺するために「グリーン・ワンコイン」の寄付を募り、その寄付金で苗木を購入し、市民参加型の「CO2 吸収源の森づくり植樹祭」を開催した。

○参加人数 70人

- ・ 一般参加者：43人（内子ども20人）
- ・ スタッフ及び関係者：27人
 - 環境政策課及び市役所関係者：5人
 - 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会：8人
 - 助言者（末廣氏）：1人
 - 戸坂造園土木（戸坂氏）：1人
 - UNCCA：12人

○植樹祭

- ・ 13時より受付開始し、参加者の名簿確認、植樹資料、移植ゴテを渡した。
- ・ 13時30分よりUNCCA中西代表挨拶、末廣氏による植樹方法の説明、UNCCA西原より注意事項の説明を行った後、参加者とスタッフは植樹場所へ移動した。
- ・ 植樹場所は4ゾーンに分け、それぞれ指導者（里山ビオトープ二俣瀬をつくる会）を配置し、参加者に対し適宜指導を行いながら植樹を実施した。
- ・ 植樹終了後、参加者はテント設営場所へ戻り、ぜんざい飲食後、カーボン・オフセット付きポテトチップスをお土産として持ち帰った。

■ 植樹した樹種と本数

樹種は海岸に近い潮風に強いものとし、また、近辺に空港施設があるため高く成長しない中低木のものを選定した。

7種類、161本

カクレミノ：13本 ネズミモチ：15本 マサキ：19本 シャリンバイ：20本
ハマヒサカキ：35本 トベラ：39本 ヒメユズリハ：20本

○植樹祭写真集



受付の様子



中西代表挨拶



植樹方法説明（末廣氏）



注意事項説明



指導者の説明



植樹風景



植樹風景



植樹風景



植樹風景



植樹した苗木



植樹終了して移動



スタッフによるチェック



ぜんざい



おみやげ

以上